

阪堺大橋（はんかいおおはし）



写真 1 阪堺大橋（左岸上流側より）

(1) 橋の諸元

所在地：大阪市住之江区一堺市堺区
道路名：府道 29 号大阪臨海線（新なにわ筋）
河川名：大和川
建設年：1986 年（昭和 61 年）
形式：3 径間連続鋼床版 2 箱桁橋
橋長：223.96m
幅員：30.0m

(2) 周辺環境と橋の歴史

旧阪堺大橋は、1927 年（昭和 2 年）阪堺電鉄の新阪堺線（芦原橋～浜寺間）の建設に伴って架設された。幅員の中央部が軌道専用になっていた。その後、1944 年（昭和 19 年）に大阪市が買収し、大阪市電の営業線となった。戦後 1968 年（昭和 43 年）市電の廃止に伴い軌道敷および車道部の鉄筋コンクリート床版が打ち換えられ道路専用の橋となった。その後、拡幅する際に旧橋を仮橋代わりに利用しながら全面架け替えされ、1986 年（昭和 61 年）に完成した。

本橋を通る府道 29 号大阪臨海線（新なにわ筋）は、泉南地方と大阪市内の工業地帯をつなぐ産業道路として重交通路線であり、軸重の大きなトラックの荷重を頻繁に受けている。

旧橋の撤去の際には、部分的に切り取られた橋梁部材が、実物大モデルとして研究材料に用いられ、その後の維持補修研究に役立てられた。

(3) 橋の現況

2023年（令和5年）12月2日に撮影した橋の状況を写真2から写真9に示す。



写真2 大阪市内向き車線（左から歩道・自転車道、側道、本線2車線）



写真3 親柱



写真4 中間支点近傍



写真5 端支点近傍



写真6 中間支点拡大



写真7 端支点拡大



写真 8 橋梁下面



写真 9 トラス組の縦桁、横桁

歩道・自転車道＋側道＋本線 2 車線を有する広幅員の鋼床版を 2 本の箱桁で支え、縦桁・横桁はトラス構造とした他にあまり例を見ない橋梁形式である。

参考文献

1)松村 博：大阪の橋

2)大阪市建設局 HP：阪堺大橋(<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000023880.html>)

以上